



長期優良住宅化リフォーム推進事業の活用セミナー

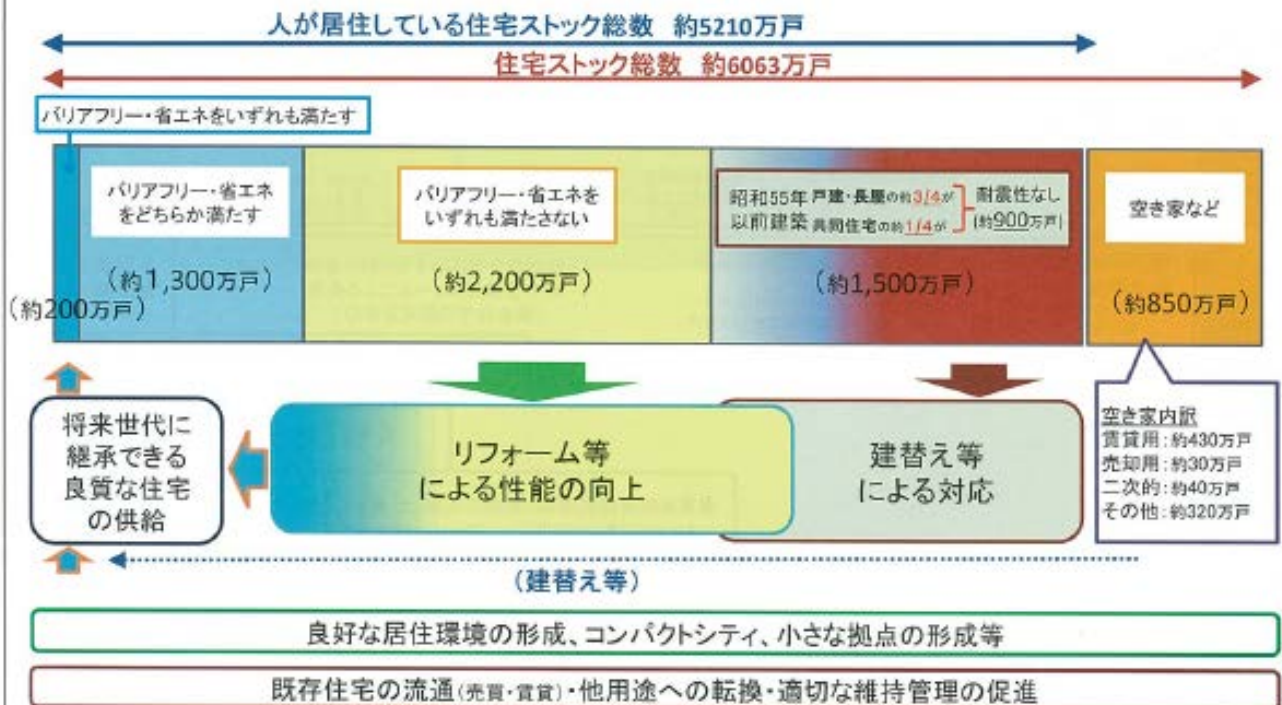
3月上旬に平成28年度長期優良住宅化リフォーム推進事業シンポジウムが東京と大阪で開催されました。長期優良住宅化リフォーム推進事業は、住宅ストックでリフォーム等による性能向上を推進するために平成25年補正予算から38,864戸が採択されてきました。そのうち認定長期優良住宅型は1,684戸と全体の4%程と少ない状況です。通年申請により申請しやすくなりましたが、評価基準型であっても長期優良住宅化リフォーム推進事業に取り組めていない事業者がまだまだ多いのが実情ではないでしょうか。

リフォーム団体の日本住宅リフォーム産業協会（通称JERCO）では性能向上リフォーム講習会を定期的におこなっています。来たる4月14日に国土交通省の住宅政策および長期優良住宅化リフォーム推進事業の活用事例、既存住宅状況調査技術者講習会の展開について講習会がおこなわれます。本講習会のご案内を同封させていただきますが、非会員の方も無料で参加できます。ご関心のある方は是非この機会に聴いてみてください。

代表取締役 内山 岳彦

住宅ストックの姿（耐震性・バリアフリー・断熱性の対応状況毎）

- 住宅ストックについて、耐震性・バリアフリー・断熱性の対応状況毎のストック数推計を実施した結果、居住している住宅ストックのうち、耐震性のない住宅は全国で約900万戸。
- 耐震改修だけでなく、耐震性能を向上させるための建替えも重要。



『住宅業界戦略実践セミナー』を開催しました

3/2(木)に「住宅業界戦略実践セミナー」を東京八重洲ホールにて開催いたしました。講座は4部構成で行われ、エー・エス・ディからは「スマホ・タブレットを活用して現場生産性をアップ！」と題し、現場管理・顧客管理の効率化、住宅性能の質、現場生産性の向上などをテーマにした講演を行いました。

その他、「2017年今年の業界トレンドはこれだ」、「話題の10万円で作れる補助金対応住宅とは」、「省エネ住宅で変わる流通の役割」と各テーマによる新しいノウハウや

商品サービスに関する最新情報が満載の講演が行われました。



今後も皆様と情報共有を行えるようなセミナーを開催していきたいと思っております。

点検録のリニューアルリリースに先駆けチョット嬉しいキャンペーンを企画しました。



点検録をご契約の先着10社限定
iPadホルダー 1個プレゼント！
期間限定／2017年5月31日まで



点検録のリニューアルリリースキャンペーン企画としまして、点検録をご契約された先着10社限定で、iPadの持ち運びに便利なiPadホルダーを1個プレゼントいたします。iPadホルダーは、点検録では欠かせないiPadの落下防止対策として好評販売中です。

『点検録』はタブレット端末iPad用アプリケーションを起動して点検報告書式を選択すると、紙に記述するのと同じ感覚で記入できます。

また『目視録』と連携することで、点検録で記入したものを目視録に保管できるようになり、現場からの点検報告と写真報告の両方をクラウド上で効率よく共有することができます。

チェックシートの活用でお悩みの方は、ぜひ担当営業までお電話ください。

お問い合わせ電話番号

045-478-2482

お電話の受付日時は、平日9時から18時までになっております。（土日・祝日・年末年始を除く）